

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601184
事業所名	グループホームあすか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	「学区」が地域活動の基本単位となっており、ホームの地域交流・連携の取り組みも「学区のお祭り」、「学区の防災訓練」、「学区の地域推進委員会」等々、「学区」を中心に行なわれている。 「学区のお祭り」には利用者が力を合せて創った「貼り絵」の作品を出品し、皆で見学に行った。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年間6回、毎奇数月に運営推進会議を開催している。 利用者、家族、地域包括支援センター、民生委員等をメンバーとし、ホームからの報告に続いてそれぞれの立場で意見を出し合っている。 身体拘束適正化の委員会設置が法制化されたこともあり、安全対策としての施錠と身体拘束との関係について、毎回活発な討議が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には地域包括支援センターの職員が参加し、介護・福祉の専門家としての意見や提案をしている。 会議の議題に関連し、「施錠か、解錠すべきか」、「転倒防止や入院に関する家族の意向と本人本意の考え方」、「身体拘束に関する基本的な考え方」等を、分かりやすく説明している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の高齢化もあって、ホームへの来訪頻度は減少傾向にあるものの、運営推進会議には毎回1～2名の家族参加がある。 高齢や体調面の問題でホーム訪問が叶わない家族に対し、自宅まで出向いてホームの取り組みや利用者の近況を伝えている。 利用者の写真やコメントを載せた「あすか通信」は、毎月の発行である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎